

標 題 : Mediterranean diet and cognitive function: a French study
地中海食事と認知機能 : フランスの研究

著 者 : E. Kesse-Guyot, et al. [フランス パリ第13大学、UREN(栄養疫学研究部)、
INSERM(U557)、Institut National de la Recherche Agronomique (U1125)]

掲 載 誌 : Am. J. Clin. Nutr. 2013 97: 369-376

要 旨 :

背 景 : 地中海食事の順守と認知力との間の関連に関する証拠は、現在不十分である。

目 的 : この研究の目的は、中年の地中海食事順守と13年後に評価した認知能力との間の関連をSU.VI.MAX(ビタミンとミネラル抗酸化物の補給)研究の参加者で調査して、認知的予備力マーカーとしての職業および教育による影響修正の仮説を検定すること。

計 画 : 地中海食事スコア(MDS)および地中海式食事パターンスコア(MSDPS)を、3083人の中年被験者からの繰り返しの24時間食事記録(1994-1996年)を用いて推計した。

認知能力を2007-2009年に6種類の神経心理学テストを用いて評価して、複合スコアを組み立てた。

職業および教育の状況によるサブグループ研究を実施した。

平均差および95%信頼区間を共分散分析で推計した。

結 果 : 潜在交絡因子を考慮した後で、低い音素流暢性スコアと低いMSDPS ($P=0.048$)および低い逆唱スコアとMDS($P=0.03$)との関連を除いて、MDSまたはMSDPSと認知スコアとの間に関連が検出されなかった。

次に、低い認知的予備力であると仮定される肉体労働者の小さなサブサンプルで低いMDSは低い複合認知スコアと関連した($n=178$ 、 P -相互作用= 0.04)。

地中海食事の順守は、認知機能に関して教育と相互作用をしなかった。

結 論 : 認知的予備力の強い指標である教育水準に関わりなく、認知機能に対する地中海食事順守の影響の裏付けを、この研究は発見できなかった。

この試験は、NCT00272428としてclinicalTrials.govに登録された。
